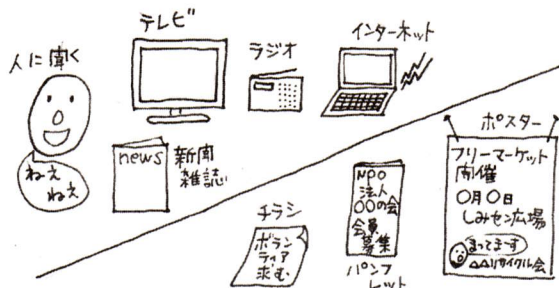


2. いろいろな活動を知る

どんな団体がどんな活動をしているのか見てみましょう

あなたの周りに、既にいろいろな活動に携わっている人はいませんか？ もし、見つからなかったりもっと詳しく知りたいときには、テレビや新聞、インターネットなどをうまく活用してみましょう。



または、団体が発行しているパンフレットや会報などを手に入れたり、直接団体に問い合わせをするか、お住まいの地域の役場や、文化会館、公民館、社会福祉協議会、ボランティアセンター、NPOサポートセンターなどを覗いてみましょう。

それでは、いくつかの活動をご紹介します。

(ここで紹介した団体の連絡先は21ページを参照ください)

情報化社会に生きる

しろくまネット



旭川のNPO・市民交流活動プラザの一室に「しろくまネット」のパソコンサロンがあります。このサロンは、シニア世代の人たちや障がいを持つ方たちがパソコンに向い、いつでも学習できるようにと設置されたもので、平成15年4月に開設されて以来、利用者は約1年間で2000名を越えました。会員になると好きなときにサロンに出向き、自分のペースでパソコンの操作を学べます。サロンには、サポート隊と呼ばれる会員が常について、パソコン操作に困ったときにはアドバイスしてくれます。会員の中から生まれたデジカメクラブのメンバーが撮影した写真などを見て、利用者はやる気を引き起しているようでした。

また、しろくまネットでは、パソコンサロンのほかにもワードアート活用講座や年賀状講座などの各種講座を開催しており、お互いにパソコンの知識を教えあい、技術を高め、交流を図る中から生き生きとした生活を楽しむための生きがいづくりを目指しています。



新聞・雑誌

- ・北海道新聞「がんばれNPO」(不定期連載)
- ・朝日新聞「NPO情報」(札幌圏木曜夕刊)
- ・北海道のNPO総合情報誌「えぬぴおん」
- ・地域のボランティア情報誌など

道内の市民活動データベース(団体紹介)のあるサイト

- ・NPO法人あいあいテレビ放送
- ・NPO法人旭川NPOサポートセンター
- ・札幌市市民活動サポートセンター
- ・道民チャレンジ21世紀ファンド
- ・北海道NGO情報センター
- ・北海道市民活動情報提供システム
- ・NPO法人ボラナビ倶楽部など

(URLは、22ページを参照ください)
この他にも「市民活動団体」「NPO」などで検索してみるとたくさん出てきます。

他にも関連する活動をしている団体があります。

- ・i-dayプロジェクト
- ・NPO法人あいねっと北海道
- ・NPO法人札幌シニアネット
- ・NPO法人札幌チャレンジドなど

←サポート隊の日誌から

今日は70歳になる方が入会されました。見てましたら年賀状を書き始めたんです。文字を大きくして色を付けてあげると喜んでもらえ、Tさんがカットを入れてくれましたので、そのやり方をゆっくりやってもらおうと、とても喜んで「こんな事が出来るなんて面白いですね！忘れてしまうかもしれないので、又明日来ます」と言って帰られました。

(平成15年9月12日)

みんなに優しい暮らし

NPO法人 地域福祉支援センターちいさな手



人口7,500人、高齢化率26.8%の新得町に、地域の人たちの"手"になりたいという思いから名づけた、「地域福祉支援センターちいさな手」があります。

「うちの売りは社会福祉士事務所なんです」と責任者の清野光彦さんは言います。

介護を必要とされる人のケアプランを作成し、ヘルパー派遣などを行う他、介護保険ではまかなえないサービスの創出や独居老人の見守りなどの各種相談に、社会福祉士やケアマネージャーなどの福祉の専門家が応える、いわば福祉のよろず相談所のような活動が特徴です。

また、平成15年6月からは障がい児預かりサービス、10月からは高齢者ディサービスも行う「たまたて箱」がオープンし、地域に根ざした活動に、とても明るく前向きに取り組んでいます。

- ・ NPO法人北海道福祉住環境を研究する会
- ・ NPO法人在宅生活支援サービスホーム「花風」
- ・ NPO法人地域生活支援ネットワークサロン
- ・ NPO法人ニセコ生活の家
- ・ NPO法人夢の樹オホーツク
- ・ NPO法人ホームヘルパーノア
- ・ NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフなど

*この他にも地域に密着した福祉や環境、まちづくりなどの分野でさまざまな活動をしている人たちがたくさんいます。インターネットなどで探してみませんか！

大事な大事な大自然

NPO法人 当別エコロジカルコミュニティー

TECこと「当別エコロジカルコミュニティー」は、環境教育やまちづくりを通して持続可能な社会を実現することを目的に、当別町を主な活動フィールドとしてさまざまなプログラムに取り組んでいます。

地域の人たちとともに環境について考える「ECOセンスセミナー」、子ども向けキャンプなどの参加学習プログラム「環境の村事業」や畑仕事は初めてという子どもがほとんどだったファミリー向け体験プログラム「あぜ道とせせらぎプロジェクト」、また、藁集めから土台づくり、土壁づくりも子ども達の手で行った「藁の家づくり」などがあります。

ファミリーや子供向けのプログラムの多いTECでは、全てのプログラムに参加する人がいるほどリピーターも多いそう。事務局スタッフの岡嶋さんは、「会うたびに子どもの顔つきがかわってくるんです」と話してくれました。



- ・ 追分町マチおこし研究所
- ・ 循環（くるくる）ネットワーク北海道
- ・ 日高山脈ファンクラブ
- ・ 山のトイレを考える会
- ・ NPO法人霧多布湿原トラスト
- ・ NPO法人北海道グリーンファンド
- ・ NPO法人ねおすなど

各団体の連絡先は21ページを参照ください。

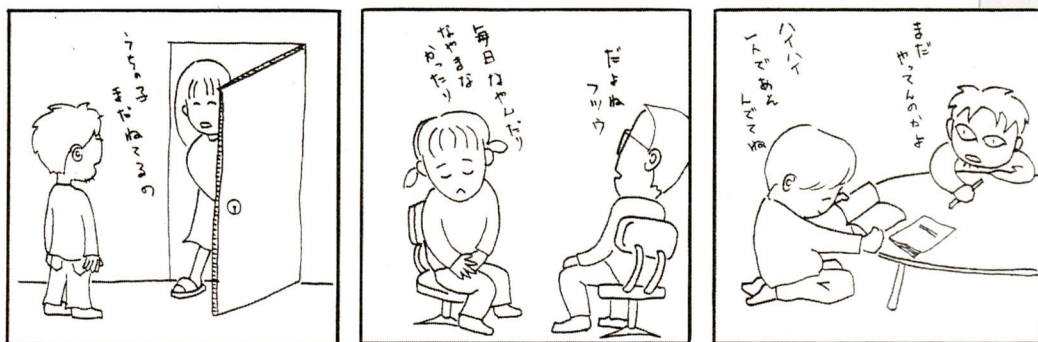
子どもに寄りそう

訪問型フリースクール「漂流教室」

「漂流教室」には教室がありません。学校に行っていない子どもたちのもとを訪れ、話し相手になる訪問型のフリースクールです。

以前、フリースクールでボランティアをしていたスタッフの相馬さんが「フリースクールに来られないでいる子ども達もいる。それならこちらから出向こう」と考えたのをきっかけに、平成13年6月から活動をスタートしました。現在は、相馬さんと代表の山田さんの2人が中心となり、研修をつんだボランティアスタッフが札幌市内を中心に「漂流」しています。

「不登校であっても、登校していても、子ども達は既に現代社会を漂流している。ならば自分たちも共に漂流しようと思う」という漂流教室のスタッフが訪れる時間は、子ども達にはもちろん、子どもと同じように悩んでいるお母さんやお父さんにとっても大切な時間になっているようです。



- ・青年・家族・ボランティアの会
- ・楽しいモグラクラブ
- ・NPO法人札幌VO
- など

もっともっと市民活動が元気になってほしい

NPO法人 API ジャパン

APIとはAccountants for the Public Interest(=公益のための会計団)の略称で、約30年前にサンフランシスコで始まった会計や税務の専門家によるボランティア団体です。NPOや小規模事業者、低所得者のための会計、税務のサポートをしているAPIの存在を知り、日本にも必要ではないかと考えた税理士の瀧谷和隆さんが中心となり、平成13年1月に大阪を拠点に活動が始まりました。

平成14年からは、札幌を中心にNPOのための会計講座を開催したり、会計学を学ぶ学生ボランティアとともに、ボランティア団体や駆け出しのNPO法人の会計のサポートなどの活動も行っています。

「財政的な基盤が整備されていないNPOにとって、会計や資金調達に関する事務作業はどうしても負担になってしまう。それぞれのNPOが本来の活動に力を注げるように、自分達にできるサポートをしていきたい。」と瀧谷さんは語ります。

- ・NPO法人北海道NPOサポートセンター
- ・NPO法人経営アドバイザーネットワーク協会
- など



ここで紹介した活動は、たくさんの活動の中のほんの一部です。

市民活動の分野や運営方法に決まりはありません。どんな活動をしている人たちがいるのか探してみて、興味や関心が湧いたものに参加してみませんか！

イベントやセミナーに行ってみる

イベントやセミナー、ワークショップ、スタディーツアーなどに参加するとその団体が何を目的にどんなことをしているのかがよく解かります。活動しているスタッフに直接会えるので、団体の活動がより身近に感じられるでしょう。

ボランティアで深くかかわる

イベントやセミナーなどに参加し、関心を持った活動に出会ったらもう一歩踏み込んでボランティアとしてできることからその活動にかかわってみませんか。

たとえイベントなどに参加するチャンスがなくても、ボランティア募集情報などを活用する方法もあります。この時、うまく自分に合ったボランティア活動に出会えるかどうかは、発信されている情報だけではわからないこともあるでしょう。発信されている情報が古くなっていたり、状況が変わっていたりなど、現状とは違いがある場合もあります。また、条件が合っても活動している人たちとの相性などもあるので、まず自分で問い合わせてみましょう。

道立市民活動促進センターでは、ボランティアをしてみたいという方々への情報提供はもちろん、「自分たちの活動と連携できる協力団体を知りたい」というような、既に活動している方や、「NPOとの協働を考えているがどんな団体があるか知りたい」などの行政機関からの相談にも対応しています。

豆まめ情報 インターンシップという関わり方

インターンシップとは、学生が一定期間社会の第一線で実地研修を行う制度です。アメリカでは盛んに行なわれていますが、近年日本でも注目が高まり、大学等でも導入され始めています。道内でも学生の受け入れを行っているNPOがあり、インターンとしてNPOに関わる学生も出てきています。

<参考>

任意団体には決まりはありませんが、NPO法人の場合は次の17分野のいずれかに区分されます。

1. 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
2. 社会教育の推進を図る活動
3. まちづくりの推進を図る活動
4. 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
5. 環境の保全を図る活動
6. 災害救援活動
7. 地域安全活動
8. 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
9. 国際協力の活動
10. 男女平等参画社会の形成の促進を図る活動
11. 子どもの健全育成を図る活動
12. 情報化社会の発展を図る活動
13. 科学技術の振興を図る活動
14. 経済活動の活性化を図る活動
15. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
16. 消費者の保護を図る活動
17. これらの活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

ボランティアの募集情報は、お近くの社会福祉協議会などで提供している他、地域の役場や文化会館、公民館またはNPOサポートセンターなどで団体が募集チラシなどを掲示して募集していることもあります。

<問合せ先>

NPO法人北海道NPOサポートセンター
(NPOインターンシップマッチング業務を行っています)